

現在三の五は、男子二七名、女子一五名のいわゆる混クラである。女子は混クラしか経験できないが、男子は男クラ経験者、しかも二年間男クラの荒武者が多かったのである。

この要因が、現在の男女間の交流の少なさを生み出したのかもしれない。

しかし、あの大帆船の作成に一丸となつて挑んだ連動会の仮装行列、男子は柔道2位、羽球3位、柔剣道各個人戦2位、女子はソフトボールの優勝と意外に活躍したスポーツ祭の応援風景、LHRのレクレーションなどの様子は、かなりいい雰囲気であつた。

いずれにせよ、三の五は我々にとって高校生活最後の場である。残り少ない日々を明るく渦ごし、今まで育んできた友情を卒業後も持続させたいものである。

きて、話が少々堅苦しくなつたので、このへんで適当に人物紹介でも始めよう。原則として男子は名字で、女子で名前で記そう。

恵子と彩子は授業中神出鬼没、代返はお手もの、その華麗なるズッコケぶりに誰かが感銘をうけ、行く末楽しみな豪傑、いや女史と無責任に推薦している。真面目か否か判断に

苦しむのが無線部系の三人、天文部へ移った石田、零落土族の洋一、混クラに来る必要のなかつた金也。道子はツンツクレと誰かが言うけど、どういう意味かしら？、英利子は声がいい。昼休みのザワメキの中心稚枝子。はるか南晶山の麓より鈴を鳴らして来る文子。祥子も誰かの推篤つき。今、アメリカにいるのは三映子。スーパーマンは柔道部の北田。

金野は神主の孫で、オミキに囲まれて育つた(うん、これで納得)小さな体に力を秘めた重拳部の栄光。筆者がアラを探しあぐねたのが熊原、田屋。節子は誰かが会計のこわいオバチャンと言つたけど、そんな事ないよね。

(弁解か皮肉か各自判断) 国粹主義から平和主義に移行した立は、今では岩本とともに天文学と中国語を慕う。由紀子はナントカシャープのCM。突如としてわめきだす白石、彼は〇〇。現代社会から極度に疎外されている白木。軟派サッカー部は小原能知に竹林。小原は八時四五分、独特のスマイルを浮かべて登場、竹林は勘当の危機に瀕している。

硬派剣道部は田名場に晴山。田名場は岩泉のホープ、晴山はテストの時必ず時間内に教室を出る実力派？、英語の発音が強烈な印象のきみ子。真面目さと泥臭さと茶目っ気が雑居

する長村。ひたすら遅刻の証拠隠滅をはかる隆子。神秘なる人とも子。現国でイスイスのあいづちは明美。男は黙って・・の藤原広志。突然髭を切つた由美子は独特の区長で話す。

松田は細かい所によく気がつく、嫁サンに最適？、三津谷と自称天皇の小川直人はコンビ。

ホッケー部の湊はすべてに徹底した男。音楽部の八重樫は教室ではおとなしいが、クラブの時とダレカサンといえる時はニギヤカとか。

天動説を唱える？睦美。一校時の途中で登場するのは吉野。最後にひかえしは寮生トリオ。

テストの二日前にサイドリーダーを買ひ、女性ことばをあやつる奇人は小倉。怪人は藤井で、常人には思いもよらぬしゃれをとばし、応援委員でラジオ技術は専門の域。筆者も彼にラジオを直してもらつた。変人は渡辺で、最近是比较的真面目に学校に来ている秀才らからぬ秀才。

こんな我々ですけれど、森容子さんがなくなつた時は、皆悲しみました。スポーツ祭ソフトボールのピッチャーでした。いつもニコニコしている人でした。月並みな言葉になりますが、我々が彼女の分まで生きようと思いません。彼女は我々の胸の中に生き続けるでしょう。